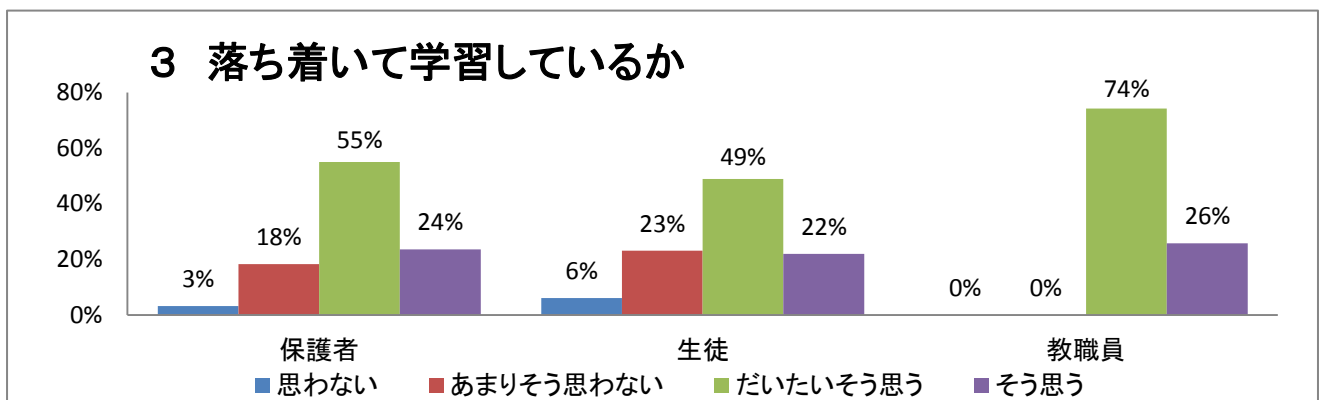
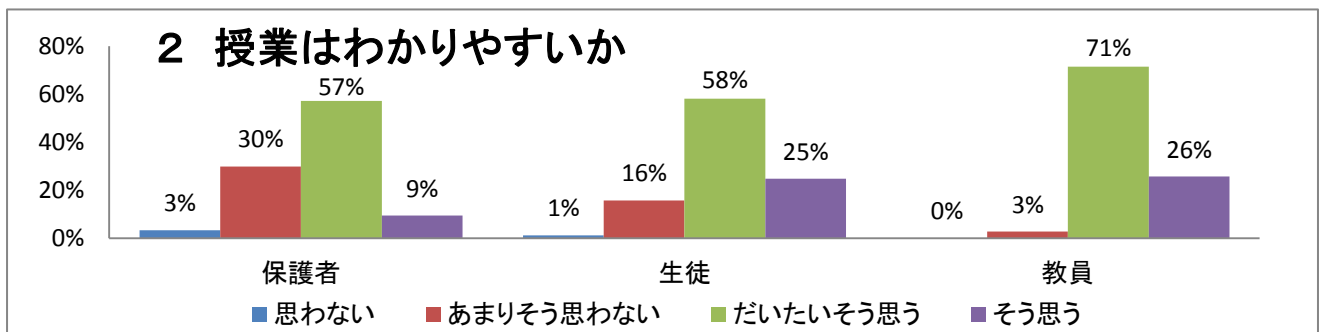
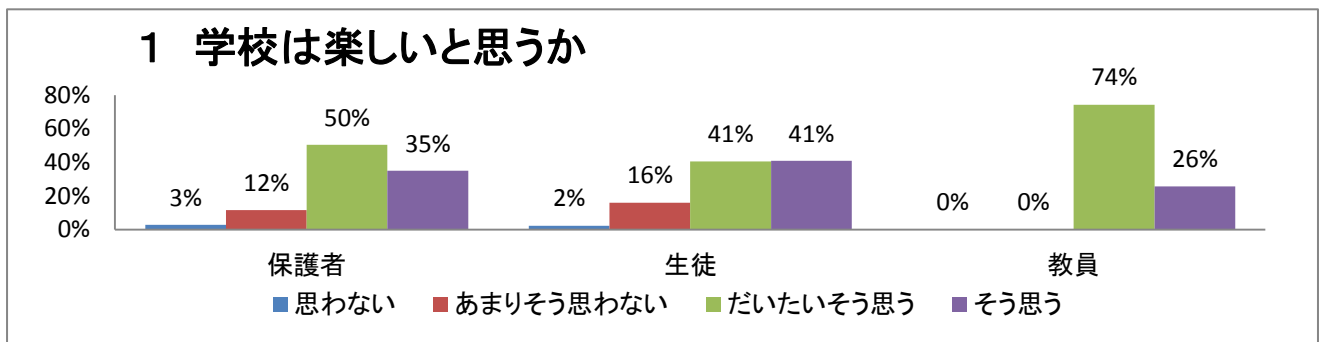
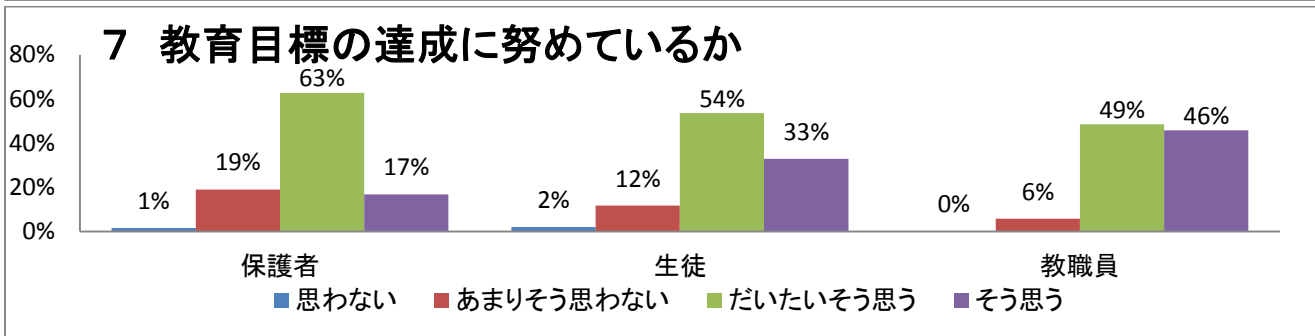
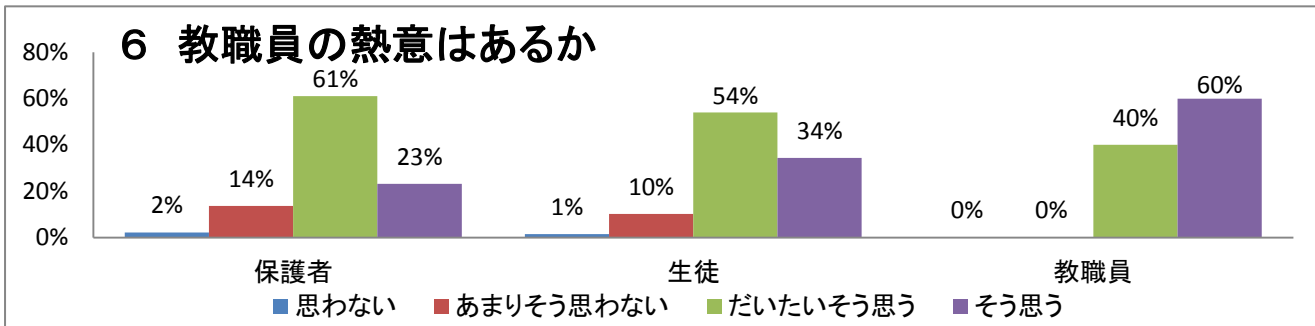
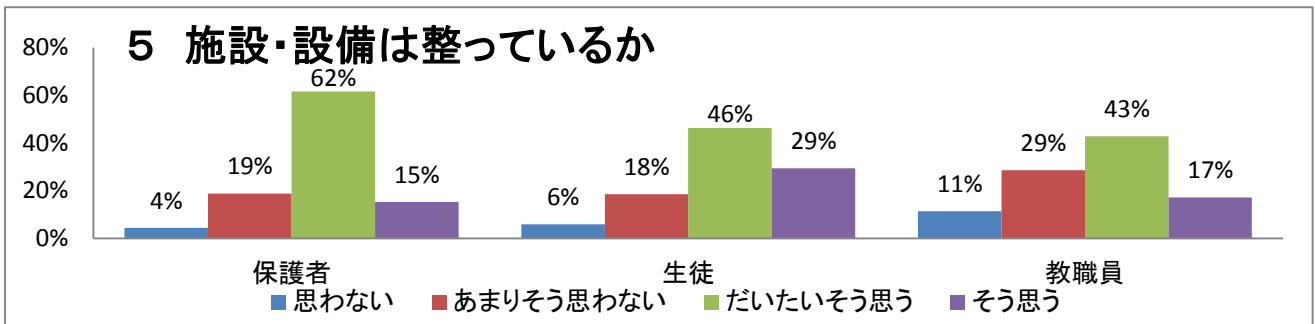
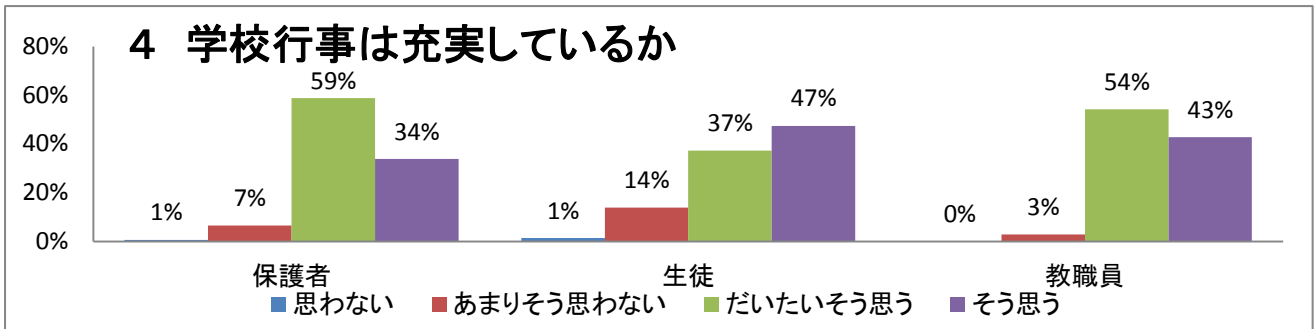


平成30年度 練馬中学校 学校評価について

昨年度に引き続き「学校への満足度」「子供の元気度」「学校の開かれ度」という領域でアンケート調査を行い、それぞれの項目に対する分析と生徒、保護者、教員による比較分析で学校の実態と今年度の教育の成果と課題を明らかにし、改善を図れるようにした。アンケート調査は、各質問項目については、回答をパーセントで示し、三者の比較については、そう思う（4点）、だいたいそう思う（3点）あまり思わない（2点）思わない（1点）として点数化し、2.5以上を良好な状態、3以上を満足する状態と定め、結果を分析した。

《学校への満足度》（統計処理上、合計が100%にならないことがあります。）

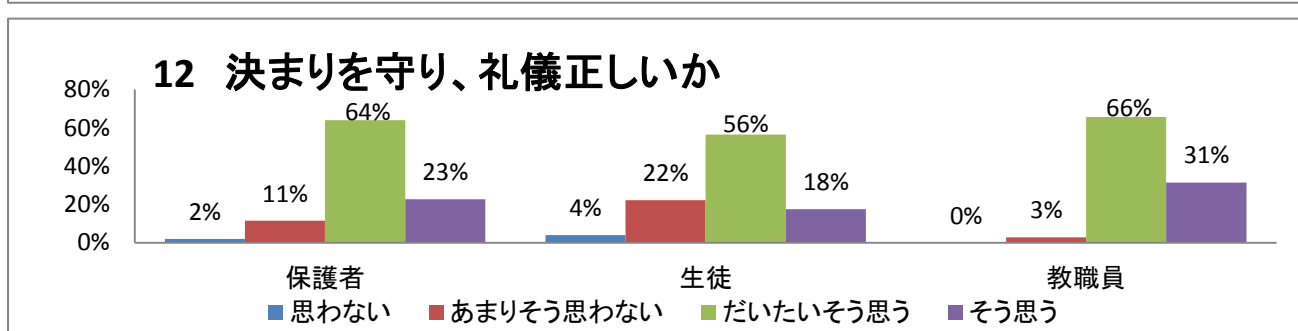
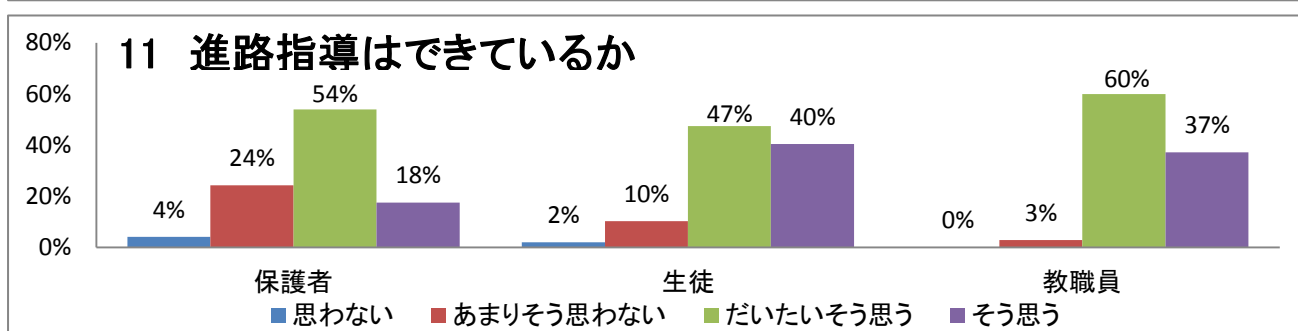
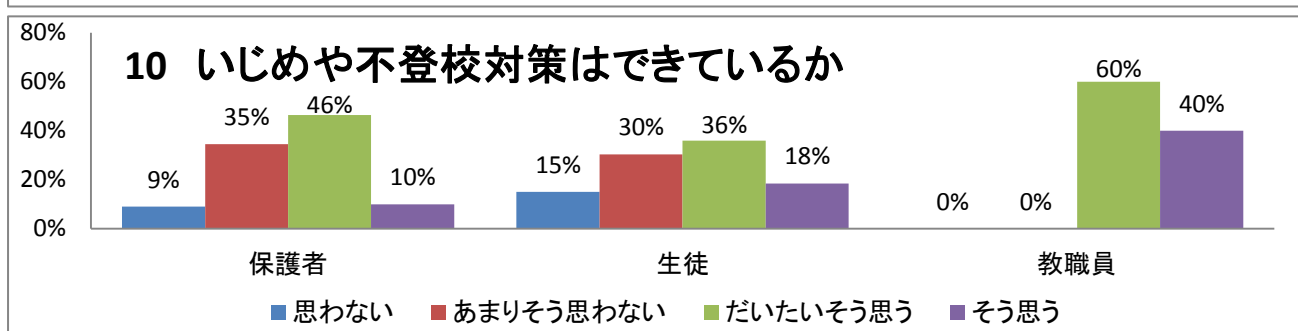
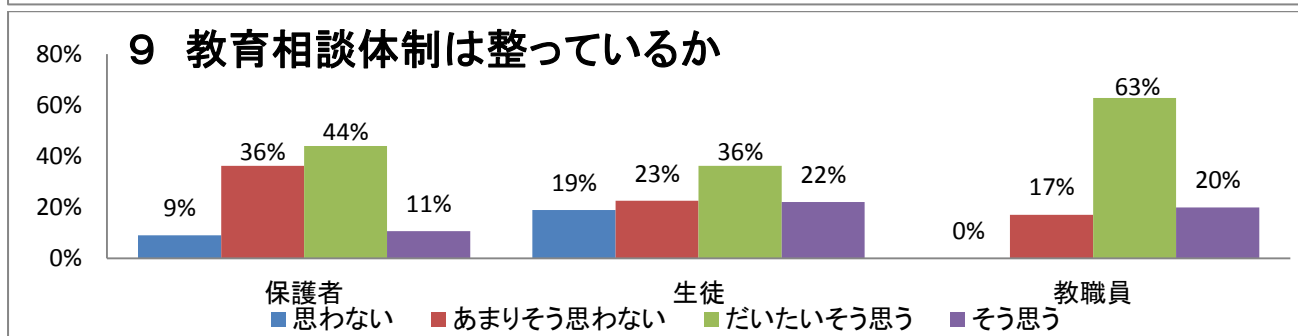
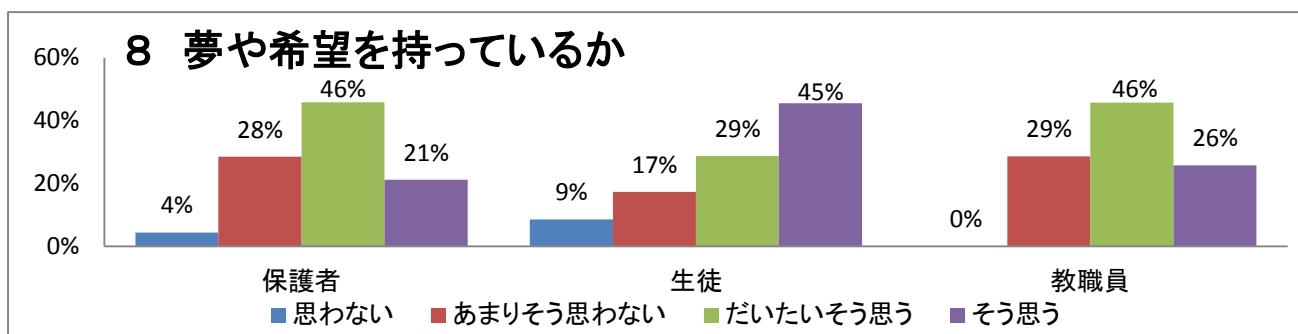


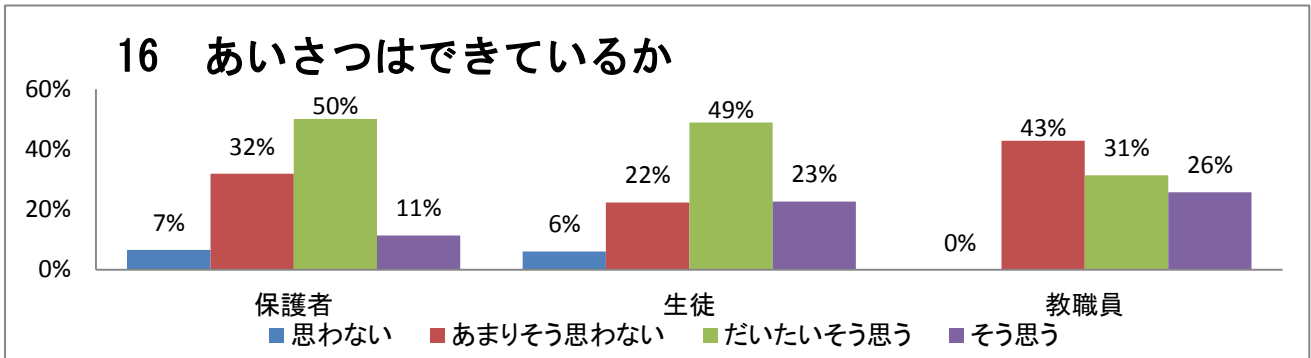
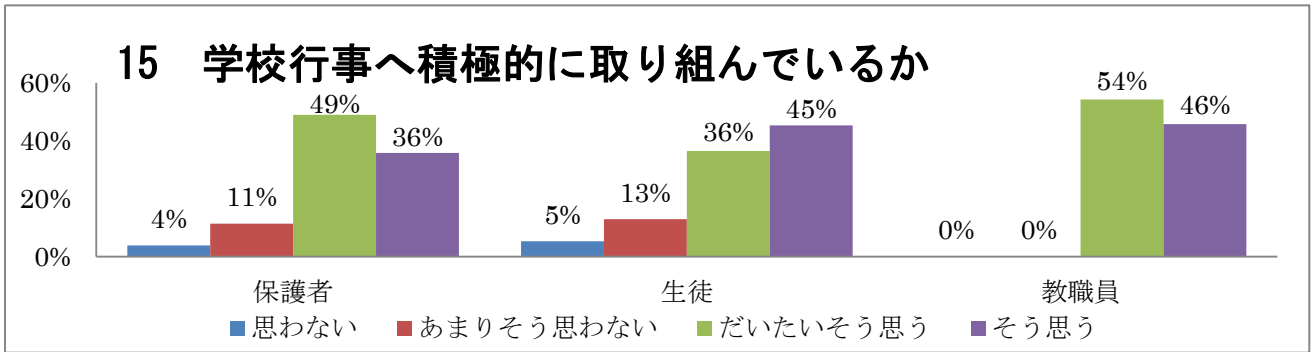
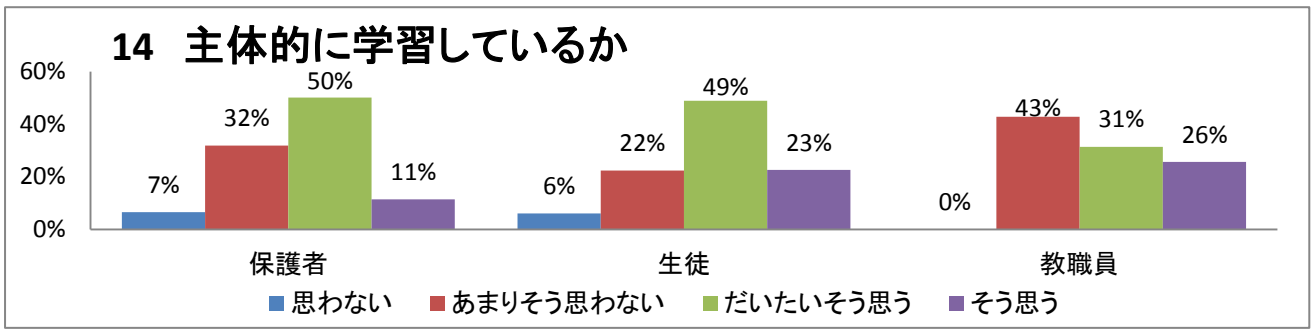
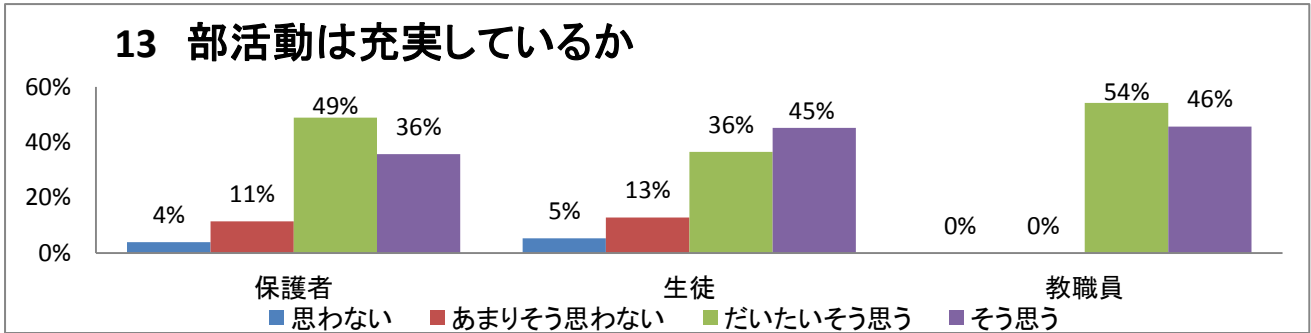


<結果と考察>

学校への満足度では、どの項目も肯定的な回答が多い。学校が楽しいと思う生徒の割合が昨年度よりも若干下がっている。生徒が活躍できる場面を多く設定する工夫が必要と思われる。授業がわかりやすいかの間に対し保護者の肯定的な割合が6割5分と生徒との差がある。学校公開週間での授業参観者数が少ないことから、授業アピールの工夫が必要であると考え。また、保護者、教職員はおち着いて学習に取り組んでいると考えているが、約3割の生徒は否定的な回答である。生徒は、集中して学習に取り組める環境を重視していることが窺える。今後、規律のある、わかりやすい授業と共に、主体的・対話的な学びの実現に向かい改善を図っていく必要がある。

《子供の元気度》

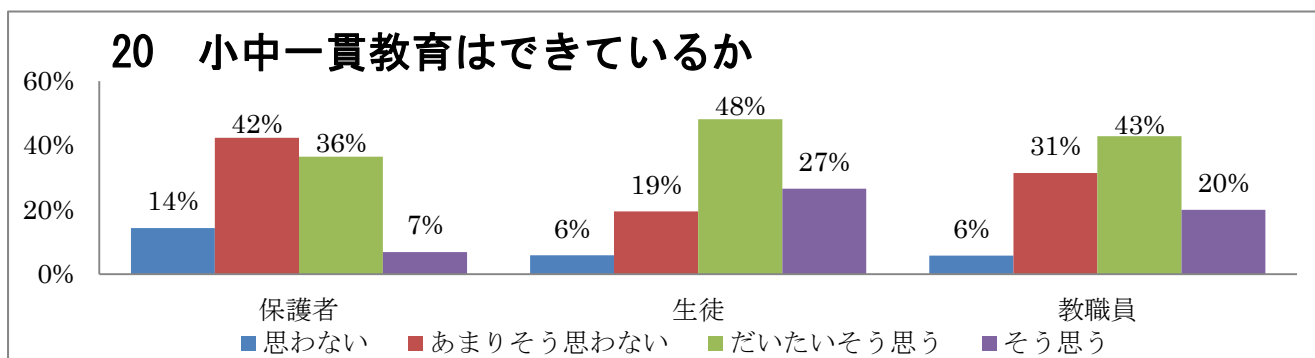
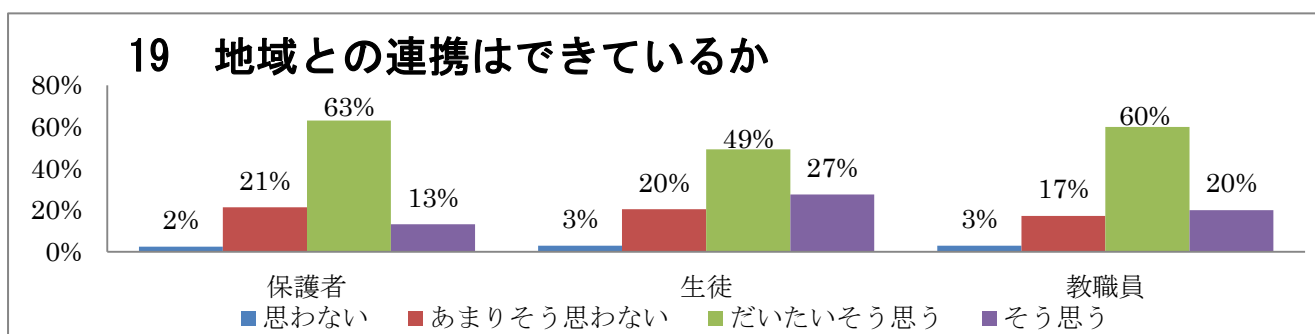
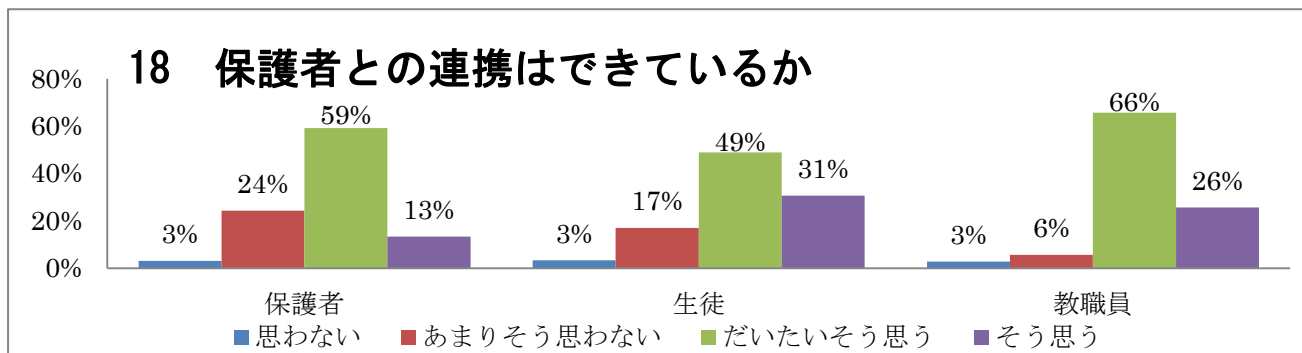
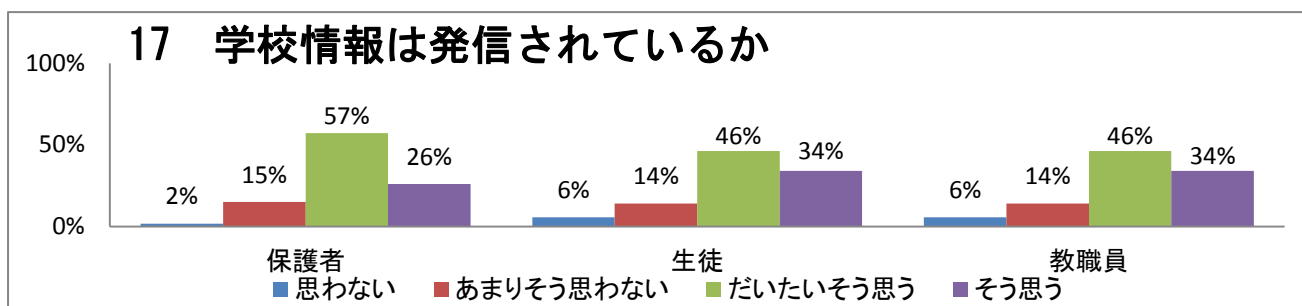




<結果と考察>

元気度については、昨年同様子供の様子と学校の支援体制という 2 つの視点からアンケートをとった。本校の生徒は、多くの生徒が、礼儀正しくきまりを守り、夢や希望をもって、元気に学校行事や部活動に取り組んでいることから楽しく学校生活を送ることができていると推測できる。主体的な学習への取り組みについては、生徒と保護者・教職員との間で認識に差があり、今後の課題となる。また、生徒一人ひとりに対応するため見えにくい、いじめや不登校、教育相談の体制については、生徒・保護者で肯定的な回答がやや低く今後の課題となる。特にいじめや不登校対策・教育相談体制については、生徒に直接関わることから学校としての組織的な対応を周知し、安心できる学校作りの推進を行っていく。

《学校の開かれ度》

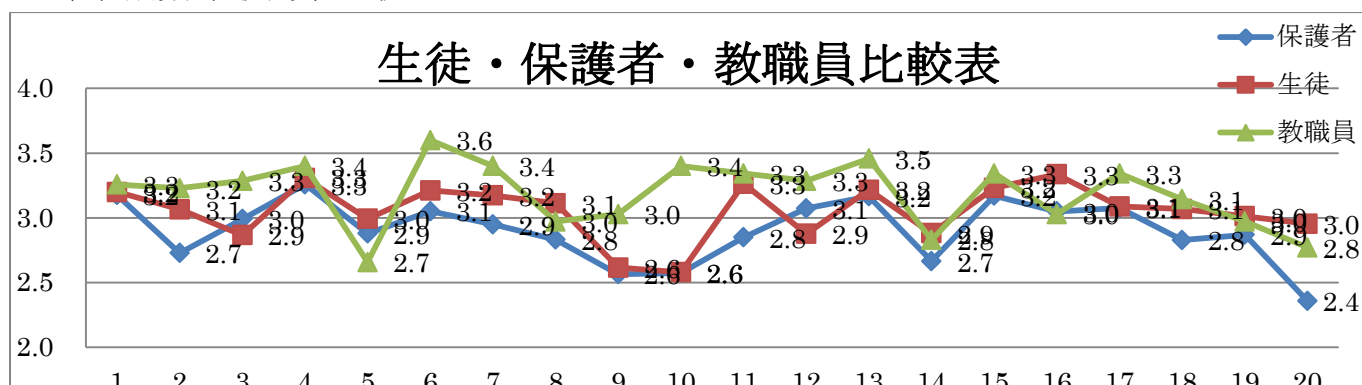


＜結果と考察＞

ホームページの更新や学年・学級便り等を通じた情報発信については生徒・保護者からも満足していることが窺える。今後も開かれた学校作りを推進していく。保護者との連携については肯定的な意見が多いが、教職員と保護者で認知度に差がある。より保護者に寄り添った対応を行うことで保護者との信頼関係を強固にする必要があると考える。

小中一貫教育については、実際に児童と活動をしている生徒の認知度は高いが、保護者の認知度が高くない。広く認識してもらう広報活動を考える必要がある。

《生徒、保護者、教職員の比較》



《結果と考察》

全体を通して、評価指標としている2.5ポイントを下回っているのは、保護者の設問20（小中一貫教育に関するもの）だけであり、他の設問に対しては全て2.5ポイント以上であった。このことから学校の教育活動全体では、生徒・保護者の評価は良好であるとの判断ができる。

また、設問1（学校は楽しいと思うか）設問4（学校行事は充実しているか）設問13（部活動は充実しているか）の設問に対し三者ともに高い評価をしていること、生徒の全設問に対する平均ポイントが3.1であることから、生徒にとっては概ね過ごしやすい学校環境が整い、満足した学校生活を送ることができていると推測することができる。設問10（いじめや不登校対策はできているか）では、教職員と生徒・保護者との認識度に差が生じている。個別に対応しなければならないため、認知度を高めることは容易ではないが、教員の生徒に寄り添う指導やスクールカウンセラー・心の相談員の存在や仕事内容などを周知する等の工夫が必要になると考える。

【平成31年度に向けて】

《学校の満足度》

- ・新学習指導要領の先行実施に向けた授業改善と研修の充実を図るようにする。
- ・よりわかりやすい授業を行うためにICT機器の有効活用や教材の開発などに努める。
- ・少人数授業等での生徒の反応から、個に応じたきめ細かい指導を行い一人ひとりの成長を促す教育を目指す。

《子供の元気度》

- ・部活動や行事をさらに充実させ、活気ある学校生活を送れるように努める。
- ・教育相談を充実させ、いじめや不登校の未然防止への活動を推進していく。
- ・あいさつ運動や心の温まる言葉かけ運動等をさらに進め、気持ちの良い学校作りを推進する。

《学校開かれ度》

- ・学校ホームページの充実に努め、教育活動が保護者・地域へ見えるよう開かれた学校度を上げる。
- ・小中一貫教育の内容を地域・保護者の方々に認識いただけるように工夫を行う。
- ・生徒や教員の地域活動への参加・貢献を促進し、ボランティアマインドの醸成を図る。